

企 画 部 企 画 課

1 総合計画の策定

合併を契機に策定した「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」の基本計画期間が終了することに伴い、今後の中長期にわたる総合的・計画的な市政運営の指針として、新たな総合計画の策定作業に取り組んだ。

- (1) 策定期間 平成22年から平成23年の2ヵ年間
- (2) 名 称 第2次米子市総合計画（米子いきいきプラン2011）
- (3) 市民参画

ア まちづくりワークショップ

運営委託先 ㈱ウエスコ

委託期間 平成22年6月14日～8月31日

委託料 840,000円

テーマ 10年後の米子市へ向けて ～市民と行政による協働のまちづくり～

第1回ワークショップ 平成22年7月8日 参加人数 24人

オリエンテーション

・いきいきプランを見てみよう！聞いてみよう！

・ワークショップの進めかた

第2回ワークショップ 平成22年7月16日 参加人数 23人

グループディスカッション

・米子市の課題と優位性を整理しよう！

・10年後の米子市（将来像）を想像してみよう！

第3回ワークショップ 平成22年8月5日 参加人数 22人

グループディスカッション

・将来像を実現するためには？

第4回ワークショップ 平成22年8月20日 参加人数 23人

グループディスカッション

・自分たちでできること（市民と行政の役割分担）

イ 総合計画審議会

審議委員 20人

第1回審議会 平成22年9月7日

・総合計画の策定について諮問

・策定方針、前計画の数値目標進捗状況等について

第2回審議会 平成22年11月5日

・新米子市総合計画（米子いきいきプラン）の実績について

・基本構想体系（案）について

第3回審議会 平成22年11月29日

・基本構想体系（案）について

・基本構想（案）について

第4回審議会 平成23年1月24日

・基本構想（案）について

- ・基本計画（案）について
第5回審議会 平成23年2月1日
- ・基本計画（案）について
第6回審議会 平成23年2月7日
- ・基本構想（案）について
・基本計画（案）について
第7回審議会 平成23年2月15日
- ・基本計画（案）について
第8回審議会 平成23年2月22日
- ・基本計画（案）について
第9回審議会 平成23年3月18日
- ・第2次米子市総合計画（案）について

ウ パブリックコメント

第2次米子市総合計画（素案）に対するパブリックコメントを実施
実施期間 平成23年2月14日～3月15日

2 総合計画の進行管理

平成21年度分「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」数値目標の進捗状況調査の実施

(1) 調査の目的

平成18年に策定した「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」の数値目標の進捗状況を把握し、今後の施策推進に役立てるため、平成21年度末における進捗状況調査を実施した。

(2) 調査対象

新米子市総合計画基本計画の数値目標71項目を対象とした。

なお、数値目標のうち、「・・・している市民の割合」の10項目については、平成22年1月に実施した市民アンケートの結果とした。

【進捗状況調査対象数】

区 分	対象項目数
第1章 子育てを応援し、お年寄りが元気な米子	16
第2章 ゆとりある心豊かな米子	29
第3章 活力みなぎる米子	22
第4章 みんなのための市役所	4
数値目標の総数	71

(3) 目標達成度

目標達成度は、その状況から、つぎの「A～D」の4つの区分に分類した。

A＝目標を達成している

B＝概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みである

C＝進捗状況が停滞しており、目標を達成するためには取組みを強化していく必要がある

D＝基準値（17年度現状値）を下回っている

(4) 調査結果

調査対象の数値目標 71 項目のうち、「目標を達成している」ものが 30 項目 (42.3%)、「概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みである」ものが 12 項目 (16.9%) あり、これら 42 項目 (59.2%) については順調に進捗している。

しかしながら、「基準値 (平成 17 年度の現状値) を下回っている」ものが 11 項目 (15.5%)、「進捗状況が停滞しており、目標を達成するためには取組みを強化していく必要がある」ものが 18 項目 (25.4%) あり、これら 29 項目 (40.8%) については目標達成に向けて、更なる取組みの強化・充実に必要がある。

「目標を達成している」項目は 8 項目増えているが、そのほとんどが「概ね順調に進捗している」から移行したものであり、これらを合わせたものと「取組みの強化を図る必要がある」項目と「基準値を下回っている」項目を合わせたものの比率は、前年度とほぼ同じである。

対象目標数	A達成済み	B概ね順調	C取組強化	D基準値以下
第1章 16	8 (50.0%)	2 (12.5%)	2 (12.5%)	4 (25.0%)
第2章 29	13 (44.8%)	6 (20.7%)	8 (27.6%)	2 (6.9%)
第3章 22	7 (31.8%)	3 (13.6%)	8 (36.4%)	4 (18.2%)
第4章 4	2 (50.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
71	30 (42.3%)	12 (16.9%)	18 (25.4%)	11 (15.5%)

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるため、章ごとの割合の合計が 100%にならない場合がある。

3 行政評価の実施

(1) 事務事業評価

翌年度に行う予定の事務事業のうち、全ての新規事業と、継続事業のうち、所管部長等の選定した事業、前年度評価結果を検証すべき事業等(新規事務事業 18 本、継続事務事業 144 本)について評価を実施した。

評価は、各担当課による「1次評価」と、副市長を委員長とし各部長等で構成する事務事業評価委員会による「2次評価」の2段階で実施し、継続事務事業のあり方や新規事業の実施などについて検討を行った。

2次評価の結果は、次のとおりである。

ア 「継続事務事業における今後の方向性」の判断結果

現状のまま継続	見直しして継続	休止・廃止
96本 (66.7%)	46本 (31.9%)	2本 (1.4%)

イ 「新規事務事業における実施等の区分」の判断結果

実施	条件付実施	再検討
14本 (77.8%)	2本 (11.1%)	2本 (11.1%)

4 合併関係事務

(1) 合併振興基金の造成

合併特例債を活用し、市民の連帯の強化及び地域振興に資する事業の実施に要する費用に充てるための合併振興基金に144,900千円を積み立てた。

5 米子市ロゴマーク、イメージキャラクターの活用

(1) イベント等への派遣

「ヨネギーズ」の着ぐるみを、「ネギ祭 in お台場」に登場させたほか、各種イベントに77回(329日間)貸し出を実施した。

(2) 印刷物・キャラクターグッズとしての活用

米子市の各種印刷物をはじめ、職員の名刺や名札に活用されているほか、チラシ、リーフレットへの掲載等、民間事業者を含めて74件の使用申請があり、携帯電話ゲームの素材としての活用、Tシャツ等のプリント素材、料理店の幟、缶バッジ、ハンドタオル、付箋、食品類のパッケージ等に活用された。

(3) その他の活用

Twitter(ツイッター)を活用して、随時米子市の行政情報や観光案内、雪害情報を提供した。

「はちゅねミク」とのコラボレーションが実現。漫画雑誌に登場したほか、うちわやパソコンの壁紙などを作成。コラボレーションが縁で、「巨大はちゅねミク」の張り子が市役所に寄贈された。

携帯ヨネギーズストラップを、「ふるさと納税」をした人に記念品として贈呈している。

6 中海市長会関係

(1) 市長会及び幹事会の開催

ア 市長会の開催

第1回：平成22年7月9日(火) 松江市八束支所

- ① 平成21年度決算報告
- ② 平成22年度補正予算(補正第1回)について
- ③ 平成22年度事業計画について

その他：ロシア訪問団歓迎セレモニー

第2回：平成22年11月24日(水) 松江市役所八束支所

- ① 平成22年度環日本海貨客船航路就航支援補助金限度額の見直し
- ② 中海圏域定住自立圏形成協定の追加について

第3回：平成23年3月29日(火) 松江市役所八束支所

- ① 中海圏域定住自立圏形成協定の一部を変更する協定について
- ② 平成22年度一般会計補正予算(補正第2回)について
- ③ 平成23年度一般会計予算(案)について
- ④ 平成23年度特別会計予算(案)について

イ 幹事会の開催

第1回：平成22年7月6日(火) 松江市役所八束支所

- ① 平成21年度決算報告
- ② 平成22年度補正予算(補正第1回)
- ③ 平成22年度事業計画(補正予算関係)

④ 中海圏域定住自立圏に関する今後のスケジュール

⑤ 要望事項について

副市長会 平成22年11月16日（火） 松江市八束支所

① 平成22年度環日本海貨客船航路就航支援補助金限度額の見直し

② 中海圏域定住自立圏形成協定の追加について

第3回：平成23年1月12日（火） 松江市役所八束支所

① 出雲市を加えた5市の連携について

② きめ細かな交付金を活用した急速充電器整備事業について

第4回：平成23年2月23日（水） 松江市役所八束支所

① 消防指令業務共同運用の検討経過について

② 定住自立圏形成協定について

③ 平成22年度補正予算（第2回）について

④ 平成23年度当初予算について

(2) 事業

ア 中海市長会シンポジウム

テーマ：中海をはじめとする豊かな自然・人が織り成す調和の実現

平成23年2月16日（水） 米子市文化ホール

第1部 「中海圏域の今」映像 福島敦子氏トークショー

第2部 環境漫才 パネルディスカッション

イ 環日本海貨客船航路就航支援事業

環日本海定期貨客船の運航支援をする者に対し、鳥取県と連携を図り支援を行った。

ウ ロシアビジネスサポート専門人材配置事業

鳥取県と連携し、ロシアとビジネスマッチングを行うため、境港ロシアビジネスサポートセンターの運営を支援した。

エ ロシア・韓国紹介事業

環日本海諸国との観光交流を促進するため、圏域内のケーブルテレビ局のメディアを活用して、韓国・ロシアの観光地を紹介し観光情報の提供を行った。

オ チャーター便による圏域交流事業

「2010 台北国際花博覧会」の開催に向け、米子鬼太郎空港を利用したチャーター便の運行支援を行った。

カ 中海自然体験学習事業

圏域の小学生を対象に、船上から中海を観察し、水質等の環境学習を行った。

キ ジュニアヨット大会開催支援事業

中海の水面を活用して米子で開催された、「全日本ジュニアヨットレース」の開催支援を行った。

ク 海外商談会事業

商工関係者・観光関係者が海外で開催される商談会へ出展、参加または市場調査を行うための費用に対して補助を行った。

ケ 中海圏域の情報発信

4市1町の一体感の醸成を図り、中海圏域を内外に認知してもらうための各種事業を実施した。

① ホームページによる情報発信

- ② 大都市圏における情報発展拠点の構築
- ③ イメージキャラクターによる圏域PRの充実
- ④ フリーペーパーによる情報発信
- ⑤ ノベルティグッズによる情報発信
- ⑥ 「ゲゲゲの女房」を活用した圏域PR
- ⑦ 映画「瞬」のロケ地を中心にしたロケ地マップの作成
- ⑧ 「なかうみマラソン全国大会」による情報発信
- ⑨ 中海圏域振興ビジョン広報事業

コ 中海圏域連携補助金

圏域住民の文化・スポーツ交流を促進する事業を実施する団体に対し、事業費の一部の補助を行った。

サ 中海圏域イベント交流事業

圏域で開催される代表的な夏祭りに相互に出演することで交流促進を図った。

シ 青少年海外派遣研修事業

国際感覚をもった人材を育てることを目的に、圏域の中学生10名をカナダブリティッシュコロンビア州メトロバンクーバーに派遣し、海外の教育・文化に触れる機会を提供する研修事業を行った。

ス プロスポーツチームを通じた交流

中海圏域の一体感の醸成と中海市長会のPRを目的に、山陰に本拠地を置くプロスポーツチーム（JFL ガイナーレ鳥取、bjリーグ島根スサノオマジック）の公式戦で中海市長会スペシャルマッチを開催した。

(3) 中海市長会事務局の運営

4月から中海市長会の会長市となり、松江市から事務局を引継ぎ企画部企画課内に設置した。（米子市職員1名 松江市職員1名を事務局職員として配置）

7 鳥取県西部地域振興協議会(事務局)

(1) 協議会・幹事会・連絡会の開催

ア 協議会の開催

平成22年5月31日（月） 緑水湖研修センター（南部町）

- ① 平成21年度事業報告及び決算報告
- ② 平成22年度事業計画及び予算
- ③ 企業誘致に関する連携の検討について
- ④ 定住自立圏構想及び中海市長会について

イ 幹事会の開催

平成22年5月24日（月） 弓ヶ浜荘

- ① 幹事会役員の一部改選
- ② 平成21年度事業報告及び決算報告
- ③ 平成22年度事業計画及び予算
- ④ 定住自立圏構想及び中海市長会について

ウ 連絡会議の開催

(ア)平成22年5月12日（水） 米子市役所 402会議室

- ① 幹事会役員の一部改選

- ② 平成21年度事業報告及び決算報告
- ③ 平成22年度事業計画及び予算
- ④ 定住自立圏構想及び中海市長会について

(イ)平成23年1月14日(火) 米子市役所 本庁 第2会議室

- ① 要望活動について(報告)
- ② 2012年国際マンガサミットの取組みについて
- ③ 鳥取発スマートコミュニティ構想について
- ④ 企業誘致の連携の可能性について

(ウ)平成23年2月17日(木) 米子市役所 第二庁舎 第1会議室

- ① 2012年国際マンガサミットの取組みについて
- ② 中海市長会について

(2) 要望活動

ア 平成22年 6月22日 鳥取県知事 要望活動

中国横断自動車道岡山米子線(米子IC～蒜山IC)四車線化について

協議会会長米子市長が要望書提出

イ 平成22年 9月 2日

国土交通省中国地方整備局及び西日本高速道路(株)中国支社 要望活動

中国横断自動車道岡山米子線(米子IC～蒜山IC)四車線化について

協議会会長米子市長が要望書提出

ウ 平成22年11月2日

民主党本部、国土交通大臣・政務三役 他 要望活動

中国横断自動車道岡山米子線(米子IC～蒜山IC)四車線化及び無料化社会実験区間の選定について

協議会会長米子市長が要望書提出

エ 平成22年6月22日

法務大臣、鳥取地方法務局長 要望活動

鳥取地方法務局米子支局における会社・法人登記申請事務の存続について

協議会会長米子市長が要望書提出

(3) 懇談会等の開催

ア 平成23年1月14日

鳥取県地域活性化総合特区構想(鳥取発スマートコミュニティ構想)について

(4) その他鳥取県西部地域の発展を促進する事業

ア 企業誘致担当課長会議の開催 平成23年1月14日

イ 米子市進出誘致企業の事業説明会に対する名義後援

① (株)ナノオプトニクス・エナジー 平成23年2月17日 米子コンベンションセンター

② ニッポン高度紙工業(株) 平成23年2月23日 米子全日空ホテル

ウ 米子市進出企業ニッポン高度紙工業(株)歓迎懇談会参加

平成23年2月23日 ホテルハーベストイン米子

8 西日本中央連携軸沿線都市連携推進協議会

広域交流圏づくりに不可欠な、道路を始めとする基幹的な社会資本の整備促進について関係省庁に対する要望活動を行なった。

9 定住自立圏構想関係

平成21年10月7日に締結した中海圏域の定住自立圏形成に関する協定の一部を変更する協定を締結し、4項目を追加し3分野26項目とした。

(1) 定住自立圏形成協定の変更（項目追加）に関する協定の締結 平成23年3月29日

4市1町の12月定例会で定住自立圏形成協定（案）に関する議決を得て、中心市（米子・松江）と境港市、安来市、東出雲町の間で3分野4項目を追加する協定を締結した。

ア 生活機能の強化にかかる政策分野

境港及び米子鬼太郎空港の機能強化及び利用促進（4市1町）

中海の水産資源の保全・育成（4市1町）

イ 結びつきやネットワークの強化にかかる政策分野

中海市長会の運営（4市1町）

ウ 圏域マネジメント能力の強化にかかる政策分野

青少年海外派遣研修事業（4市1町）

(2) 構成市町連携の充実

中海圏域定住自立圏の取組を推進するため、構成4市1町の担当課長による作業部会と担当課長会を開催し、連携事業の検討及び事業実施に向けた調整等を行った。

作業部会	福祉・医療部会	1回	教育部会	1回
	産業・観光部会	1回	建設部会	1回
担当課長会	企画課長会	9回	観光課長会	3回
	給食課長会	1回	環境担当課長会	1回
	都市計画担当課長会	1回	公共交通担当課長会	3回
	防災担当課長会	3回	農業・漁業担当課長会	1回
	人事担当課長会	2回		

(3) 定住自立圏形成協定にもとづく連携事業の実施

平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金（定住自立圏中心市上乗せ分 松江市 121,024千円 米子市 107,756千円）を活用し、定住自立圏形成協定にもとづく連携事業を中海市長会が事業主体となり実施した。

ア 保健医療を担う病院への支援

鳥取県済生会境港総合病院、安来市立病院、東出雲町の伊藤医院及び三浦医院の医療機器整備等に支援を行った。

イ 連携備蓄資機材の購入

災害時に相互に支援するための物資を共同購入し、各市町に設置した。

ウ 公共交通の接続調査

エ 圏域の観光振興

① インバウンド対策

関西圏を訪れる外国人観光客を対象に、中海圏域を訪れるオプションツアー造成を行った。

② 観光二次交通の企画・実証実験

観光二次交通の現状分析にもとづき、松江-境港間のルート案内看板の設置、シャトルバス3路線の運行、周遊バスの企画実施を行った。

③ 魅力発信事業

圏域の観光スポット等を撮影したDVDを作成するとともに、圏域を紹介するテレビ番組の放映委託を実施した。

オ 学校給食に圏域内の特産食材を使用

カ 職員合同研修の実施

「新エネルギーと地域活性」をテーマに合同職員研修会を実施した。

キ 職員人事交流の実施

米子市と安来市、松江市と境港市の間で相互に職員を派遣し人事交流を行った

(4) きめ細かな臨時交付金

きめ細かな臨時交付金（定住自立圏中心市上乗せ分 49,379 千円）を活用し、電気自動車・急速充電器整備事業を実施することとした。（平成23年度に予算を繰越して実施）

電気自動車 6台導入

急速充電器設置 4箇所

10 移住定住推進事業

(1) 相談業務

企画部企画課内の「米子市移住定住相談窓口」によるUJIターン希望者の相談に対し、就職、子育て、医療、高齢者サービス、住宅等の紹介等をワンストップサービスで行なった。

県外（関西）で開催された、鳥取県主催の移住定住相談会（鳥取県IJUターンBig相談会）に参加し、UJIターン希望者の相談業務を行なったほか、米子市の魅力の情報発信と他市町村における取組施策の収集に努めた。

(2) 交流事業

鳥取県と連携して、地元の料理づくりや体験談等をおして米子市への移住・定住につなげることを目的に移住定住交流体験事業を開催した。

事業名 「米子でおいしい体験しませんか。」

開催日 平成23年1月16日（日）

場所 米子市淀江公民館宇田川分館、白鳳の里

参加者数 21名

11 国政・県政に対する要望事項

米子市と米子市議会との協働により、国及び県に対し要望事項を取りまとめ提出した。

【国政に対する要望事項】

1 北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他24件

2 公共土木事業関係 直轄皆生海岸侵食対策事業の推進 他9件

【県政に対する要望事項】

1 北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について 他23件

2 公共土木事業関係 米子境港自転車道線 他46件

3 公安委員会関係 国道431号市道下和田東3号線との交差点の信号機 他16件

1.2 市長会関係

市長会を通じて、国、県に対し要望活動を行なった。

【国政に対する要望事項】

公的資金補償金免除繰上償還による高金利地方債の借換制度の拡大について 他12件

【県政に対する要望事項】

生活保護に係る級地区分の改善について 他3件

1.3 鳥取県西部広域行政管理組合

次の事務について、鳥取県西部広域行政管理組合で共同処理をおこなった。

(1) 老人福祉施設（うなばら荘）運営管理

(2) 介護、障害認定審査

(3) 病院郡輪番制及び小児救急医療支援事業

(4) 火葬場（桜の苑）運営管理

(5) 不燃物中間処理場（リサイクルプラザ）、最終処分場、灰溶融施設（エコスラグセンター）、し尿処理施設（白浜浄化場、米子浄化場）運営管理

(6) 消防本部及び消防署の設置運営

(7) 視聴覚ライブラリーの運営